



司会は梶組活課長



向井院長が開会の挨拶を

東日本大震災から6年メモリアルイベント

「いのちを守る！」

2017年3月11日(土) 正午～

□模擬店 □バザー □現地(被災地)物産販売 □うた等

午後2時
～
午後3時

防災講座

話し 鶴見消防隊

南海トラフ地震がおこったら 防災の準備って 避難場所は……

東日本大震災から6年の月日が流れました。コープおおさか病院では、「被災地のことを忘れない」をテーマにさまざまな取り組みを行ってまいりましたが、今年、毎月第2土曜日に開いている医療講座と連携して防災講座を開催。「いのちを守る」をテーマにメモリアル集会を開催しました。

鶴見消防署の地域担当岩川さんを講師に、実際に被災地へ出向いたときの経験を交えて、今後30年以内に起こる可能性が70%といわれる南海トラフへの備えについて話していただきました。興味深かったのは、地震などの災害に遭遇したときに、反射的に避難行動をとる人は驚くほど少ない「大したことにはならないはず」「自分は大丈夫」と根拠のない思い込みにとらわれてしまうという話。日頃から避難場所や家族の連絡方法などを考えておき、すぐに避難することが大切で、その際もマニュアルなどにとらわれず、「自分で考えて自分で自分のいのちを守るために行動しよう」ということでした。『人は皆「自分だけは死なない」と思っている』という防災システム研究所所長・山村武彦氏の著書も紹介されました。

東日本大震災発生の午後2時46分には、全員で犠牲者に1分間の黙祷を捧げました。

山元町からのビデオレターや「上を向いて歩こう隊」の合奏とともに、東北物産に加えて、熊本からも海苔やふりかけを取り寄せ販売、模擬店やバザーも開きました。収益は被災地に届けます。また、東北へのメッセージを書いた黄色いハンカチを病院前にはためかせ、集会后、宮城県山元町へ送りました。たくさんの方にご協力いただきありがとうございました。



2017/03/11



山元町から届いたビデオレターを鑑賞



防災講話「巨大地震への備え」
鶴見消防署地域担当岩川氏



6年目の上を向いて歩こう隊



ロビーは非常食の試食会をはじめ物産販売・バザーで大にぎわい



午後2時46分には全員で黙祷しました



水野理事長が指揮、中谷drがピアノ
セラピストも奨学生といっしょに初参加♪
看護学生も参加してくれました♪



